

THE 市町支援通信

～三重県に生まれ育つすべての子どもに途切れのない支援を～

あすなる学園市町支援課は、
途切れのない支援システムの構築を推進しています。

三重県に生まれ育つすべての子どもの発達保障・子育て支援を目指し、あすなる学園は多くの市町と共働しながら、以下の取り組みを進めています。

- ① 発達総合支援室（保健・福祉・教育の一元化室）・機能の設置
- ② 「CLM (Check List in Mie) と個別の指導計画」による保育所・幼稚園での早期発見・支援 *CLMは、子どもの育ちを見極め、適切な支援を行うためのツールです
- ③ みえ発達障がい支援システムアドバイザーの育成支援

本年度4月1日発足！！

～県発達支援体制推進プロジェクトチーム
(PT) からのご挨拶～

ハードとソフトの両面から、子どものこころとからだの発達支援の拠点の整備を進めるため、三重県庁の組織の1つとして新しく「発達支援体制推進PT」が本年4月1日に発足しました。

新PTでは、

- ① 拠点となる「三重県こども心身発達医療センター（仮称）」の整備
- ② 市町における発達総合支援窓口の設置・専門人材の育成・「CLMと個別の指導計画」導入を支援することにより、あすなる学園がこれまで進めてきた「途切れのない支援システム」を、本県独自の取り組みとして県全域に普及させていくこと

を目標としています。

発達障害者支援法では、地方公共団体の責務として、発達障害の早期発見のため必要な措置を講じるものとされるとともに、早期の発達支援として、市町村・県における役割等が規定されています。

本県では、特に市町等関係者の皆様方との密接な連携のもと、子どもの気になる行動に対し、保育所・幼稚園等で適切な支援を継続することで、子どもの健やかな育ちにつなげていきたいと考えています。

「途切れのない支援システム」の構築・普及にご協力いただきたくよろしくお願い申し上げます。

平成26年6月

三重県健康福祉部子ども・家庭局

発達支援体制推進PT担当課長 丹羽 健



「みえ発達障がい支援システム アドバイザー総会を開催しました！！」



平成26年4月16日（水）、三重県吉田山会館にて、「みえ発達障がい支援システムアドバイザー総会」を開催しました。

総勢25名のアドバイザーが集結し、あすなる学園で1年間のアドバイザー研修を受けた仲間として、相互の連携と専門性の向上を目指し、更なる活躍を誓いあいました。

総会では、年間計画の確認を行い、また、スキルアップ研修会として「CLMと個別の指導計画」の立案演習、グループに分かれての「事例検討」演習を行いました。

グループで話をする中で、色々な意見やアドバイスの切り口を学べる、日常の業務ですぐに活かせる内容、具体例について考えることがスキルアップに繋がる等々の声を多くいただきました。



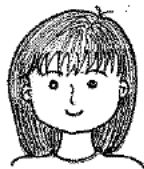
演習「事例検討」発表のようす

☆☆平成26年度 研修者の声☆☆

『みえ発達障がい支援システムアドバイザーの育成』として、今年度は5名の研修者をお迎えしました！！
抱負と似顔絵を書いていただきましたので、紹介します。

《四日市市》 林 貴子

たくさんのことを学び、身につけたいと思います。
そして1年後、人として成長し、子どもの周りの風景が変わって見えるようになっていたいと思います。



ファイト一発宣言！！

《津市》 市川 由花



まだまだわからないことばかりで、日々いっぱいいっぱいですが、精一杯努力してたくさん
のことを学んでいきたい
と思います。

《伊勢市》 藤林 都子

今までと違った環境の中、刺激を受けています。
のんびりやの私なので、あすなる学園
の速いペースにあたふた・・・
「子どもたちの笑顔のために」
がんばります！！



《玉城町》 上村 亜由子

人の顔を覚えることが苦手な
私ですが、人との出会いを大切
にして、この1年を過ごしてい
きたいと思います。



《志摩市》 中本 好明

あすなる学園で学ばせていただいたことを活かして、
支援の必要な子どもと、その家族の
ために、地域の学校と、医療・保健・
福祉の連携を進める役目を目指したい
と思います。





平成26年度途切れのない発達支援研修会 ～圏域別ワークショップ～を開催しました！

5月10日（土）菰野町役場、24日（土）津市芸濃総合庁舎、6月1日（日）鳥羽市保健福祉センターひだまりホールにて『途切れのない発達支援研修会（圏域別ワークショップ）』を開催しました。

講演会では、具体的な支援のアイテムを紹介しながら、集団での支援と個別の支援の数々、保育所・幼稚園からの支援の引き継ぎの重要性などをお伝えしました。

ワークショップでは、市町の枠を超えてグループを編成し、講演会で紹介した支援を活用しながら「CLMと個別の指導計画」立案演習を行いました。グループ発表では、担任と子どもの動きをロールプレイすることで、作成した指導計画が、『明日から使える計画』であるかの検証をしました。

意見交流では、日常の保育・教育での疑問や困っていることを出し合ったり、また、豊富な経験からのアイデアを活発に出し合い、大変有意義な時間となりました。

ご参加いただいた皆様、会場を提供していただいた市町行政の皆様、ご協力いただいたアドバイザーの皆様、ありがとうございました！！

アンケートにお寄せいただいたご意見・ご感想をいくつか紹介します

・講演で聞かせていただいた内容をすぐにワークショップで実践できたので、理解が深まりました。また、要因と支援を関係づけることで、必要な支援がはっきりすることがわかりました。
〈四日市市 小学校教諭〉

・「CLMと個別の指導計画」は、支援の必要な子どもだけでなく、クラス全体の子どもたちも過ぎやすくなるということを感じ、また、自分（担任）のためでもあるけれど、子どもの成功体験をするためのものということをお忘れずに取り組んでいきたいです。
〈鈴鹿市 保育士〉

・今年の4月から「CLMと個別の指導計画」を作成しており、わからないことがあったが、ワークショップの同じグループの方でCLMに取り組んだことがある方に教えていただき、参考になりました。ありがとうございました。
〈松阪市 保育士〉

・小学校低学年の子を担当していますが、この段階での支援の大切さ・効果の大きさがよく分かり、ますます責任感と意欲が高まりました。長期目標と途切れのない支援として紹介いただいた『子どもが成人した姿をイメージする』『人を愛し、愛されるように』は感動しました。将来の彼らの姿をイメージしながら、そこに近づけるために、私たちは具体的な手立てをもって支援しなくてははいけないのですね。
〈名張市 小学校教諭〉

・子どもの困り感やその要因を考えようという気持ちを常日頃から持ち保育をしていこうと、自分の保育を振り返るきっかけになりました。頭で考え、悩む前に文字におこして、職員の共通理解の中で保育をしていきたいと思えます。
〈鳥羽市 幼稚園教諭〉



インフォメーション



テーマ：発達障がい^{こども}の社会的自立について

～幼児期からの途切れない支援の実現を目指して～

- ・日 時 平成26年7月31日（木）13時00分から16時00分まで（開場 12時30分）
- ・場 所 三重県総合文化センター 中ホール
- ・基調講演 「発達障がいの職場不適応の実態と課題について」
講師：永田 昌子（産業医科大学 産業医実務研修センター 助教）
- ・シンポジウム 「あすなろ学園における途切れない支援について」
シンポジスト 中村 みゆき（三重県立小児心療センターあすなろ学園 保育士）
山下 亨（三重県立小児心療センターあすなろ学園 生活指導員）
中西 大介（三重県立小児心療センターあすなろ学園 医師）
司 会 西田 寿美（三重県立小児心療センターあすなろ学園長）
- ・定 員 900人
- ・参加費 無料
- ・申込方法 FAX番号（059-234-9361）へ「所属、職種、参加人数等」を明記の上、
あすなろ学園医療連携室宛、お申し込みください。
- ・申込締切日 平成26年7月24日（木）

- ・日 時 平成26年8月27日（水）13:30～16:30（12:30～受付 13:00開場）
- ・場 所 三重県総合文化センター 中ホール
- ・講 演① 三重県の発達支援システム ～「CLMと個別の指導計画」を中心に～
講師 三重県立小児心療センターあすなろ学園
こどもの発達総合支援室 中村 みゆき
- ・講 演② 発達に課題がある子の“個”を生かす
講師 三重県立小児心療センターあすなろ学園
こどもの発達総合支援室 北森 敬子
- ・対 象 保健・福祉・教育等の子どもに関わる方
- ・定 員 800人
- ・参加費 無料
- ・申込方法 FAX番号（059-234-9361）へ「市町名、所属、職名、氏名、電話番号」を
明記の上、あすなろ学園市町支援課宛、お申し込みください。
- ・申込締切日 平成26年8月15日（金）

2014年6月13日

<発行> 三重県立小児心療センター あすなろ学園 広報担当：こどもの発達総合支援室 市町支援課
〒514-0818 三重県津市城山1-12-3 TEL：059-234-8700 FAX：059-234-9361
MAIL：asunaro@pref.mie.jp URL：http://www.pref.mie.lg.jp/ASUNARO/HP/